



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレートコミュニケーション担当（氏名） 野口 直記（TEL）03-5205-3725
 四半期報告書提出予定日 2022年11月2日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	319,289	8.7	24,841	△48.2	△28,915	—	△15,243	—	△7,283	—	46,472	—
2022年3月期第2四半期	293,730	12.3	47,919	△0.1	47,572	0.1	29,987	△1.2	36,450	△2.3	2,027	△71.9

（参考）税引前四半期利益 2023年3月期第2四半期 21,034百万円 2022年3月期第2四半期 49,266百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 △18.33	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	91.75	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	1,407,952	718,608	646,144	45.9	1,626.37
2022年3月期	1,308,007	673,569	607,888	46.5	1,530.08

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2023年3月期	—	14.00			
2023年3月期（予想）			—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	604,000	7.9	32,000	△45.3	△30,000	—	△15,000	—	△37.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期第2四半期	397,900,154株	2022年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2023年3月期第2四半期	607,859株	2022年3月期	607,238株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期第2四半期	397,292,574株	2022年3月期第2四半期	397,293,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・連結子会社である Myovant Sciences Ltd. (以下「マイオバント社」) はニューヨーク証券取引所に上場しており、当社グループはマイオバント社の発行済株式の約52%を保有しています。「オルゴビクス」(レルゴリクス)、「マイフェンブリー」/「ライエクオ」(レルゴリクス配合剤)はマイオバント社の製品です。本資料にはマイオバント社に関する情報が含まれていますが、これらは同社による開示済の情報に基づいています。マイオバント社に関する詳細については、<https://www.myovant.com>をご覧ください。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しております。
- ・当社は、2022年11月1日(火)に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

※ 追加情報およびその入手場所

- ・本資料は、企図される Sumitovant Biopharma Ltd. (以下「スミトバント社」) および当社によるマイオバント社の買収に係る勧誘文書と見做される可能性があります。当該企図される買収に関連して、スミトバント社、当社およびマイオバント社は、Schedule 13Dの訂正報告書、Schedule 13E-3を用いた当社およびスミトバント社に係る取引の詳細ならびに Schedule 14Aを用いたマイオバント社の委任状を含む関係書類を米国証券取引委員会(SEC)に提出する予定です。SECに提出される当社およびスミトバント社の取引詳細ならびにマイオバント社の委任状を含む関係書類には企図される取引に関する重要な情報が含まれることから、同社の株主におかれましては、これらの書類をすべてお読みになるようお願いします。投資家および証券保有者におかれましては、これらの書類をSECのウェブサイト(<http://www.sec.gov>)にて、無償で入手することができます。また、マイオバント社の株主に対しては、取引関連書類を同社より無償で取得する方法に関する情報がしかるべき時期に提供されます。

※ 勧誘への参加者

- ・スミトバント社、その取締役および執行役員、当社、その取締役および執行役員、ならびに、マイオバント社、その取締役および執行役員は、企図される取引に関し、マイオバント社の普通株主に対する委任状勧誘への参加者と見做される可能性があります。マイオバント社の取締役および執行役員に関する情報は、2022年7月28日付けでSECに提出された同社の2022年定時株主総会の委任状に記載のとおりです。当該参加者の利害関係に関する追加情報は、本件に関する委任状が提供された後にこれを参照することにより入手可能です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	2,937	3,193	256	8.7
コア営業利益	479	248	△231	△48.2
営業利益	476	△289	△765	—
税引前四半期利益	493	210	△282	△57.3
四半期利益	300	△152	△452	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	365	△73	△437	—

■ 売上収益は3,193億円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

日本セグメントは、薬価改定の影響等により減収となりましたが、北米、中国、海外その他の各セグメントは、為替換算の影響や主力製品の売上拡大などにより増収となりました。

■ コア営業利益は248億円（前年同四半期比48.2%減）となりました。

為替換算の影響等による販売費及び一般管理費や研究開発費の増加が、増収による売上総利益の増加を上回り、コア営業利益は減益となりました。

■ 営業利益は△289億円（前年同四半期比765億円の減益）となりました。

米国で販売中のパーキンソン病に伴うオフ症状治療剤「キンモビ」について、収益予測を見直した結果、本製品に係る特許権等を全額減損し、減損損失544億円を計上したため、営業利益は大幅な減益となりました。

■ 税引前四半期利益は210億円（前年同四半期比57.3%減）となりました。

当四半期末の円安による為替差益の計上により、金融収益から金融費用を差し引いた金融損益は大幅な増益となりましたが、減損損失計上の影響が大きく、税引前四半期利益は減益となりました。

■ 四半期利益は△152億円（前年同四半期比452億円の減益）となりました。

税引前四半期利益が減益となったことにより、四半期利益についても減益となりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は△73億円（前年同四半期比437億円の減益）となりました。

四半期利益の減益の影響が大きく、非支配持分に帰属する損失を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益も減益となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

<日本>

■ **売上収益は666億円（前年同四半期比13.1%減）となりました。**

非定型抗精神病薬「ラツーダ」等の売上は伸長しましたが、薬価改定の影響等により、減収となりました。

■ **コアセグメント利益は44億円（前年同四半期比55.4%減）となりました。**

減収による売上総利益の減少等により、減益となりました。

<北米>

■ **売上収益は1,953億円（前年同四半期比11.7%増）となりました。**

前年同四半期は、精神神経領域における大塚製薬株式会社との共同開発・販売提携に伴う契約一時金の収益計上がありました。当第2四半期連結累計期間においては、為替換算の影響に加え、「ラツーダ」や、スミトバント社製品である進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」等の売上伸長により、増収となりました。

■ **コアセグメント利益は473億円（前年同四半期比32.7%減）となりました。**

スミトバント社グループの費用の増加や為替換算による販売費及び一般管理費の増加が、売上総利益の増加を上回り、減益となりました。

<中国>

■ **売上収益は240億円（前年同四半期比32.5%増）となりました。**

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上増加の影響が大きく、増収となりました。

■ **コアセグメント利益は132億円（前年同四半期比37.5%増）となりました。**

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

<海外その他>

■ **売上収益は113億円（前年同四半期比146.2%増）となりました。**

選択的オレキシン2受容体作動薬（DSP-0187）のライセンス契約の対価として受領した契約一時金を収益計上した影響が大きく、増収となりました。

■ **コアセグメント利益は75億円（前年同四半期比735.8%増）となりました。**

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は221億円（前年同四半期比12.8%増）、コアセグメント利益は19億円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、その他の金融資産等は減少しましたが、為替換算の影響によりのれん等が増加したことから、前連結会計年度末に比べ166億円増加しました。

流動資産は、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権が増加した結果、前連結会計年度末に比べ834億円増加しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ999億円増加し、1兆4,080億円となりました。

負債については、未払法人所得税や引当金等が増加した結果、前連結会計年度末に比べ549億円増加し、6,893億円となりました。なお、社債及び借入金は合計で2,497億円となり、前連結会計年度末に比べ193億円減少しました。

親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金は減少しましたが、その他の資本の構成要素が増加した結果、前連結会計年度末に比べ383億円増加し、6,461億円となりました。また、非支配持分は、前連結会計年度末に比べ68億円増加しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ450億円増加し、7,186億円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は45.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益は減少しましたが、減損損失等の非資金損益項目が増加したことや法人税等の支払額が減少したことなどにより、前年同四半期に比べ577億円収入が増加し、295億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の減少などにより、前年同四半期に比べ34億円収入が増加し、71億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済および配当金の支払いなどにより、前年同四半期に比べ134億円支出が増加し、267億円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物に係る換算差額を加えた結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,506億円となり、前連結会計年度末に比べ476億円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	550,000	30,000	24,000	22,000	55.37
今回修正予想 (B)	604,000	32,000	△30,000	△15,000	△37.76
増減額 (B-A)	54,000	2,000	△54,000	△37,000	—
増減率 (%)	9.8	6.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	560,035	58,509	60,234	56,413	141.99

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

売上収益は、円安による想定為替レートの見直しに加え、北米セグメントで提携先からの一時金収入があったことなどから、前回発表予想から540億円増の6,040億円に修正しました。

一方、販売費及び一般管理費や研究開発費についても円安による増加を見込みますが、増収による売上総利益の増加が上回り、コア営業利益は、前回発表予想から20億円増の320億円に修正しました。

営業利益は、第2四半期に「キンモビ」に係る特許権等の減損損失を計上したことにより、前回発表予想から540億円減の300億円の損失に修正しました。

また、金融収益において、円安に伴う為替差益の発生を見込みますが、減損損失による営業利益の減少影響が大きく、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表予想から370億円減の150億円の損失に修正しました。

今回修正予想においては、通期の想定為替レート（期中平均為替レート）を前回発表予想の1ドル125.0円から140.0円、1元19.5円から20.0円に見直しています。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	293,730	319,289
売上原価	76,854	92,841
売上総利益	216,876	226,448
販売費及び一般管理費	124,673	207,913
研究開発費	45,706	49,980
その他の収益	1,507	3,178
その他の費用	432	648
営業利益 (△は損失)	47,572	△28,915
金融収益	3,204	51,698
金融費用	1,510	1,749
税引前四半期利益	49,266	21,034
法人所得税	19,279	36,277
四半期利益 (△は損失)	29,987	△15,243
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	36,450	△7,283
非支配持分	△6,463	△7,960
四半期利益 (△は損失)	29,987	△15,243
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)	91.75	△18.33

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益 (△は損失)	29,987	△15,243
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△31,630	△8,558
確定給付負債(資産)の純額の再測定	△22	—
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	3,733	70,138
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△41	135
その他の包括利益合計	△27,960	61,715
四半期包括利益合計	2,027	46,472
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	7,772	42,808
非支配持分	△5,745	3,664
四半期包括利益合計	2,027	46,472

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	64,091	62,725
のれん	195,144	230,853
無形資産	398,692	394,932
その他の金融資産	115,844	104,855
未収法人所得税	5,538	6,551
その他の非流動資産	6,527	5,238
繰延税金資産	22,650	19,924
非流動資産合計	808,486	825,078
流動資産		
棚卸資産	99,021	109,914
営業債権及びその他の債権	151,407	181,181
その他の金融資産	35,596	25,465
未収法人所得税	93	150
その他の流動資産	10,420	15,613
現金及び現金同等物	202,984	250,551
流動資産合計	499,521	582,874
資産合計	1,308,007	1,407,952

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	243,963	244,046
その他の金融負債	16,471	15,019
退職給付に係る負債	11,461	11,545
その他の非流動負債	57,620	66,103
繰延税金負債	26,550	31,497
非流動負債合計	356,065	368,210
流動負債		
借入金	25,085	5,668
営業債務及びその他の債務	46,183	57,545
その他の金融負債	13,302	13,369
未払法人所得税	7,583	26,873
引当金	119,149	149,757
その他の流動負債	67,071	67,922
流動負債合計	278,373	321,134
負債合計	634,438	689,344
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	16,725	17,736
自己株式	△681	△682
利益剰余金	514,210	500,602
その他の資本の構成要素	55,234	106,088
親会社の所有者に帰属する持分合計	607,888	646,144
非支配持分	65,681	72,464
資本合計	673,569	718,608
負債及び資本合計	1,308,007	1,407,952

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2021年4月1日残高	22,400	15,855	△679	508,677	38,575	—
四半期利益	—	—	—	36,450	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△31,630	△22
四半期包括利益合計	—	—	—	36,450	△31,630	△22
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,563	—	—
非支配持分との取引	—	△470	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	2,477	△2,499	22
所有者との取引額等合計	—	△470	△1	△3,086	△2,499	22
2021年9月30日残高	22,400	15,385	△680	542,041	4,446	—
2022年4月1日残高	22,400	16,725	△681	514,210	23,838	—
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△7,283	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△8,558	—
四半期包括利益合計	—	—	—	△7,283	△8,558	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,562	—	—
非支配持分との取引	—	1,011	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△763	763	—
所有者との取引額等合計	—	1,011	△1	△6,325	763	—
2022年9月30日残高	22,400	17,736	△682	500,602	16,043	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ				
2021年4月1日残高	△4,331	73	34,317	580,570	67,608	648,178
四半期利益	—	—	—	36,450	△6,463	29,987
その他の包括利益	3,015	△41	△28,678	△28,678	718	△27,960
四半期包括利益合計	3,015	△41	△28,678	7,772	△5,745	2,027
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△5,563	—	△5,563
非支配持分との取引	—	—	—	△470	4,511	4,041
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△2,477	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2,477	△6,034	4,511	△1,523
2021年9月30日残高	△1,316	32	3,162	582,308	66,374	648,682

2022年4月1日残高	31,273	123	55,234	607,888	65,681	673,569
四半期利益 (△は損失)	—	—	—	△7,283	△7,960	△15,243
その他の包括利益	58,514	135	50,091	50,091	11,624	61,715
四半期包括利益合計	58,514	135	50,091	42,808	3,664	46,472
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△5,562	—	△5,562
非支配持分との取引	—	—	—	1,011	3,119	4,130
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	763	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	763	△4,552	3,119	△1,433
2022年9月30日残高	89,787	258	106,088	646,144	72,464	718,608

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益 (△は損失)	29,987	△15,243
減価償却費及び償却費	18,102	22,363
減損損失	—	54,433
条件付対価公正価値の変動額	143	△1,287
受取利息及び配当金	△663	△1,664
支払利息	1,487	1,364
法人所得税	19,279	36,277
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△38,598	△11,593
棚卸資産の増減額 (△は増加)	848	7,370
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△16,275	△3,306
前受収益の増減額 (△は減少)	4,976	2,691
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	△5,363	629
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	△24
引当金の増減額 (△は減少)	△5,618	8,214
その他	△12,205	△60,442
小計	△3,892	39,782
利息の受取額	81	1,017
配当金の受取額	579	598
利息の支払額	△1,252	△1,255
法人所得税の支払額	△23,724	△10,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,208	29,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,655	△3,480
有形固定資産の売却による収入	226	420
無形資産の取得による支出	△3,943	△2,041
投資の取得による支出	△20,921	△4,769
投資の売却及び償還による収入	5,026	3,056
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	27,678	12,241
その他	△779	1,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,632	7,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	559
長期借入金の返済による支出	△3,480	△19,980
リース負債の返済による支出	△2,326	△2,360
配当金の支払額	△5,565	△5,563
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△3,553	—
その他	1,678	694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,246	△26,650
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,822	9,895
現金及び現金同等物の期首残高	193,698	202,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	592	37,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	156,468	250,551

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

① 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	76,582	174,852	18,136	4,580	274,150	19,580	293,730
セグメント間の内部売上 収益	40	—	—	—	40	21	61
合計	76,622	174,852	18,136	4,580	274,190	19,601	293,791
セグメント利益 (コアセグメント利益)	9,811	70,237	9,588	897	90,533	1,886	92,419

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

② 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	66,565	195,337	24,030	11,278	297,210	22,079	319,289
セグメント間の内部売上 収益	26	—	—	—	26	29	55
合計	66,591	195,337	24,030	11,278	297,236	22,108	319,344
セグメント利益 (コアセグメント利益)	4,379	47,255	13,180	7,497	72,311	1,873	74,184

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメント計	274,190	297,236
「その他」の区分の売上収益	19,601	22,108
セグメント間取引消去	△61	△55
要約四半期連結財務諸表の売上収益	293,730	319,289

(単位：百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメント計	90,533	72,311
「その他」の区分の利益	1,886	1,873
セグメント間取引消去	12	14
研究開発費(注)	△45,706	△49,373
事業譲渡益等	1,189	—
その他	5	16
コア営業利益	47,919	24,841
条件付対価公正価値の変動額	△143	1,287
減損損失	—	△54,433
その他の収益	313	3,162
その他の費用	△432	△648
その他	△85	△3,124
要約四半期連結財務諸表の営業利益 (△は損失)	47,572	△28,915

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される減損損失及び研究開発関連費用であります。

(減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、医薬品事業の北米セグメントにおいて54,433百万円の減損損失を認識し、要約四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に計上しております。

当該減損損失は、医薬品事業の北米セグメントにおける、パーキンソン病に伴うオフ症状治療剤「キンモビ」に係る特許権の減損損失54,370百万円、及びソフトウェアの減損損失63百万円であります。

「キンモビ」に係る特許権、及びソフトウェアについて、収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減額しております。

(重要な後発事象)

当社、スミトバント社およびマイオバント社の3社は、スミトバント社によるマイオバント社の完全子会社化に関する契約を2022年10月23日(米国時間)付けで締結しました。

スミトバント社は、マイオバント社を存続会社とし、本完全子会社化のために設立した子会社を消滅会社とする合併を行います。

本完全子会社化の対価として、スミトバント社は、マイオバント社の発行済株式のうちスミトバント社が未保有の株式(約62百万株)を1株当たり27.00米ドルで取得し、総額17億米ドル(完全希薄化ベース)をスミトバント社以外のマイオバント社の株主に支払います。

本完全子会社化に係る資金については、当社の手元資金および銀行借入により賄う予定であり、取引金融機関から必要な借入のためのコミットメントを取得しています。

本完全子会社化は、少数株主による承認およびその他法的手続きの完了を条件としており、2022年度第4四半期に完了する予定です。